

事業所名 小平市立たいよう福祉センター

公表日

令和8年 3月 30日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	5	<ul style="list-style-type: none"> ・クールダウンできる部屋、感覚刺激を入れる遊びを提供できるスペースが必要 ・クールダウンとして使える場所等、パーティションなど利用している ・個別対応やクールダウン等の常時使用できるスペースがあるとよい ・クールダウンする部屋など、雨の日に活動できるスペース等 ・トイレ、洗面所は狭いため、安全に配慮した工夫が必要 ・多目的室をクールダウンや小グループ活動、食前や食後の遊びの部屋として活用している。健診、ST、MTなどの日もあり、毎日使えるわけではないのが残念。 また、カーテンレールがあるので、遮光カーテンをつけて、スヌーズレンの部屋として使いたい、まだ実施に至っていない。 ・身体を動かしたいお子さんに対して雨などの天候に左右されずに十分に身体を動かせるスペースが必要だと思います ・クールダウンや個別活動のできるスペースがあるとよい ・ひとクラスの人数がちょうど良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・クールダウンができる部屋として多目的室を常時使用することは難しいが、パーティション等を上手く使いながら活用する。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	20		<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの発達や支援に対する学び、今の療育に対する学びや意識が職員によって違う。 ・特になし ・利用定員に対し、職員数が多く、手厚い ・休暇等で配置人数が足りないときは、クラス同士で調整している。各クラス、マイナス1職員でも活動できるように活動内容の工夫等している。 また、突発的な休暇が重なったときは、児発センターの相談の方から応援をもらっている。 ・グループをまたぎ調整しているのがすごいと思う ・職員の数进行调整し、休暇をとっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・手厚い職員体制を組んでおり、必要に応じて他部署より応援を組んでいる。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ロッカーのないクラスもあり、おもちゃや教材の出し入れも不便 ・建物が古いので仕方がない部分はあるが、安全上の問題で修繕が必要な箇所がある。 ・少しずつ改善されていると思いますが、これからも、猛暑の日が多くなると思います。 ・プール活動などどうしていくか、むずかしいところです。 ・ひとつの支援室内で、運動活動、机上活動、給食、自由遊びを設定しているため、空間がわかりにくい。 ・構造化の工夫が必要。 ・壁や棚にいろんなものが貼ってあったり置いてある。構造化の努力はあるが、功を奏してない。 ・朝は、支度と遊びのスペースを分けて構造化しているが、ちゃんとしたパーティションがないことから分かりにくく、知的に幼い子には理解できず、遊びが気になって集中して支度が進まないことがある。 ・視覚支援ができています ・視覚的支援が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた空間の中で必要な情報を整理し、構造化に向けて整えていく。また、使用しなくなったもの等を整理整頓する。 ・園内の部屋が限られているため、園外の設備の利用も検討する。

	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	9	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔に保つようにはしているが、古い建物であるため、ささくれや壁紙の剥がれが気になる。 ・活動に合わせ職員が、レイアウトを変える必要がある ・改善が必要→部屋全体の加湿ができていない。 ・バスタオルを濡らして対応しているが、部屋全体の保湿は無理。 ・冬季時に床が冷たい ・老朽化で危険な箇所が見受けられる ・最大限工夫されていると思います。が、全体の色や質感、棚等古いです。 ・工夫して使ってはいますが、なにせ古い建物なので、冬の床も寒いです。 ・感覚統合器具を常設できるスペース（ホール等）があれば、よりこども達の活動に合わせた空間作りができると思う。 ・夏は暑く、冬は寒い。冬は、子どもたちは裸足。大人は厚いくつ下をはいている。また、乾燥していて、湿度が保てない。 ・日々、清掃が入ったり、降園後に職員が掃除をしているが、建物の老朽化により、壁や棚などが古かったり、溝ができて汚れが溜まったりしている。口に入れてしまう子も居る。 ・空調の向きが悪くて室内全体が適温にならない 活動で使う道具を置くスペースがないため外に置いているが砂を被るなどして衛生的にも気になっています ・古い施設をきれいに使っていると思う。 ・園児ロッカーなど老朽化がある場所があるので点検や改善が必要だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和60年の建物なので、老朽化は否めないが、市に報告し棚のささくれや壁紙の剥がれ等を修理した。 ・冷暖房設備が整っていない部屋もあり、冬は乾燥や湿度が低く適宜濡れタオルを干して保湿する。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	6	<ul style="list-style-type: none"> ・カームエリアが常時使えない ・部屋の構造上、複数が個別の部屋を利用することはできない ・改善が必要→クールダウンをするスペースや部屋がない。 ・常時使用できないのが不便 ・保健室などを利用したり工夫していますが個別の部屋が少なく、本当に必要な時に使用できない事がある。 ・構造上難しい ・十分ではないが、多目的室、保健室、廊下などを利用している。 ・もう一つ、狭くても良いので、個室があると良い。 ・常に使えるわけではないところが不便です ・部屋数が少ない ・多目的室、空き部屋も利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的室の利用が制限されている事実は把握しているも、限られた設備の中では限界を感じている。センター内の部屋の活用も検討します。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	19	1	<ul style="list-style-type: none"> ・職性により、参画するものとししないものがある ・特になし ・毎日振り返りを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育にかかわる職員全員が、目的や目標を共有し、同じ方向を向いて支援ができるよう目的や目標を提示し、達成度の確認等の充実を図る。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20		<ul style="list-style-type: none"> ・改善に向けて努力している ・集計、分析の実施 ・要望の中に時間の延長がよく聞かれるが、バス等の課題があり、実施には至ってはいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向け評価の結果とその改善等の取組について、全職員を対象に共有する機会を設ける。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17	3	<ul style="list-style-type: none"> ・改善に向けて努力している ・意見は伝える機会はあるが、改善したかについての回答などはない ・日々の振り返り、クラスミーティングケース会などで意見を出し合っている。 ・職員全員が集まって行う職員会議ができると良い。 ・職員会議や振り返りで情報共有をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見聴取を業務改善に活かしている、あるいは、検討していることをわかりやすく発信するようにする。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	20		<ul style="list-style-type: none"> ・改善に向けて努力している 	<ul style="list-style-type: none"> ・改善内容をわかりやすく発信する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	19	1	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修の機会は以前よりは回数も増え、学べる機会は増えた。 ・もう少し、療育の専門的な部分を学べる機会があるとよい。 ・職員が気兼ねなく外部研修に出れるようにして欲しい ・定期的に研修に参加している 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内研修、事業所内研修、部署内研修、外部研修を整えつつ、療育に関する研修の充実を検討する。

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	19	1	・場当たり ・複数の職員と作成している	・クラス職員を中心に児発管にもアドバイスをもらいながら検討を行う。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	20		・年に2回、保護者とモニタリングをして発達の確認、今後の課題を共有して作成している。 ・児発管と、担当が出席している。 ・情報共有をして、意見をまとめている	・保護者、児発管、クラス担当と共有し個別支援計画を作成する。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	20		・目標や評価をする前に、児発管と担任職員とで目標に対しての評価と今後の目標について話し合っている。 ・複数の職員と情報共有をしている	・年2回のモニタリング以外にも、適宜相談し検討を行う。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	20		・クラスミーティング	・適宜クラスミーティングを実施し、共有する。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16	4	・かかわる職員全体の向上が必要と思われる ・わかりません ・個人で調べたりしていると思うが、全体で共有したり、確認し合っているものはない。	・現状では、ケース会議の時間はこれ以上確保することが難しいため、クラスミーティングを増やす等の工夫でカバーする。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	19	1	・5領域を踏まえて、当園でできる支援を設定している。	・計画は「児童発達支援の提供すべき支援」を踏まえながら作成されているが、今後更にブラッシュアップを重ね、もっとわかりやすい計画に工夫する。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	19	1	・天気や、職員体制、分かっている子どもの欠席などを踏まえて、活動内容を検討したり、1週間の中で机上、戸外、感覚統合など、バランスのよい活動内容を検討している。	・毎日各クラスで活動プログラムを立案している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	18	2	・子どもの特性により、できない活動や行かない場所（公園）がある。	・現状を維持しつつ、プログラム決定のプロセスを明確にすることに努める。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	19	1		・児発管、クラス職員で相談しながら検討している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	18	2	・バス添乗職員とは綿密な打ち合わせができないが、その日の流れや連絡事項をホワイトボードに記入し、周知を図っている。 ・打ち合わせできる時、できないときがある全体の朝礼のあと、部署の全員で体制や活動、配付物などを確認している。	・毎朝、体制や活動の確認等を行っている。朝バス添乗の職員も共有できるようホワイトボードを用いて共有する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	20		・日々の振り返りを、タイムリーな支援につなげたい ・毎日振り返りを行い、自分のクラス以外の特記事項も共有、問題点があれば検討している。	・連携のための工夫を継続する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	19	1	・アプリになり、入力している。 ・入力や配信は、事務室だけでしかできないため、連絡帳については、今後検討する必要がある。 ・それぞれの専門性を考慮した記録をして欲しい ・毎日記録を取っている	・システムの活用により、連絡帳、支援記録、お便りの配信、保護者との連絡等を行っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	20		・子どもの様子を保護者と共有し、同意のもとで対応を考えたり、予定より早めに開始するなどしているが、個別支援計画書を書き直すことはしていない。	・モニタリング以外に、適宜個別支援計画の目標に沿った支援をしているか見直しを行っている。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	17	3	・今は、関係者会議を開くようなケースはないので行っていないが、行うときには、担当職員や児発管、主任などが参画すると思われる。	・今後、会議が開催される際は児発管や担当職員が同席することを想定している。	

関係機関や保護者との連携

25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	18	2	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前の健康診断、定期的な健康診断、児童精神科医、耳鼻科、歯科などの健診の実施、保育園交流、就学先との引き継ぎ等、連携を取って行っている。 ・医師や専門職からの文書による情報はありますが、他機関との連携までにはいたっていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・他機関とどのような形で連携していくか検討する。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	18	2	<ul style="list-style-type: none"> ・当園は、併行通園は行っていないが、次へのステップアップへの相談などを通じて、移行先への情報提供書を作成したり、引き継ぎ、移行後のフォローを行っている。 ・書類作成が難しい家庭への支援もしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供書を作成し、スムーズに移行できるようにフォローする。
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	19	1	<ul style="list-style-type: none"> ・こげらシート、就学支援資料（小平特支）入学後に引き継ぎ（小平特支、小金井特支）を行っている。 ・こげらシートを作成し情報共有をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・こげらシート、就学支援資料の作成等を行い情報共有をする。
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	17	3	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりません ・市内の事業所との連絡会、発達を支援する連絡会 ・健康センターと事業所の連絡会などで顔を合わせ、講演会、施設見学、研修（グループワーク）などで連携をとっている。 ・担当部署ではできていないので、連絡会など機会があれば参加したい 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の関係機関の関係者と顔を合わす機会を今後も設ける。
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	15	5	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修の機会(特にパート職員)は少ない。特に新任職員に対する、療育の基礎やペアレントトレーニングを学べる機会ができると思う。 ・健診がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内研修、事業所内研修、部署内研修、外部研修を整えつつ、療育に関する研修の充実を検討する。
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	14	6	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりません。参加しているとしても、内容、報告など、受けていない気がする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書等を作成し、職員間で共有するよう努める。
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	19	1	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんによってはもっと深く交流できる機会があるといいが。 ・園庭開放にとどまる ・交流までには、なっていないと思う。可能な子はお部屋での活動にも参加できると良い ・近隣の保育園との交流 ・保育園交流をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・小川西保育園との交流を通して地域の人に会う機会を設けた。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	20		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの発信に適宜、電話をしたり、連絡帳にて答えたり、必要があるときには、面談を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡アプリや電話連絡等で適宜保護者と発達の状況や課題について共有する。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	19	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児発センターで企画し、実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回児発センターが企画し、心理士が講師として研修を行う。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	19	1	<ul style="list-style-type: none"> ・入園時に行っているが、時間に限りがあるので丁寧とは言えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園時に説明している。
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	20		<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回のモニタリング、他必要に応じて設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回のモニタリング以外にも、必要に応じて機会を設ける。
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	20			<ul style="list-style-type: none"> ・年2回作成し、面談時に保護者に説明と同意を得ている。
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	20			<ul style="list-style-type: none"> ・連絡アプリや電話連絡等を用いて適宜支援を行う。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	16	4	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい同士の交流の機会はあまりない ・きょうだい同士の交流の機会は意図的に設けてはいるが、保護者同士の関係が深まることで、きょうだいを含めた家族ぐるみの付き合いができていっているように思う。 ・保護者同士はあるが、兄弟同士はない ・兄弟同士の交流はわからない ・きょうだい児同士のイベント等、交流の場は必要だと思う ・きょうだい支援として、相談は受けているが、きょうだい同士の交流機会を作って設けていない。運動会などで会う位。 	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい同士が交流できる企画や交流は行っていないが、どのような形であれば設けられるか検討する。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	20			<ul style="list-style-type: none"> ・適宜相談や申入れに応じる。児発管やクラス職員で共有した後に対応している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	20		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度よりアプリでの連絡配信ができるようになり、タイムリーに連絡を伝えたりやり取りができるようになった。 ・園だよりに活動の写真を載せるようにし、好評である。予定なども記載。 ・その他お知らせは、アプリにてタイムリーに配信している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主に連絡アプリを用いて保護者に発信している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	20		<ul style="list-style-type: none"> ・持ち帰らない。鍵の掛かる所にしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報には必ず鍵付きのキャビネットに仕舞っている。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	20		<ul style="list-style-type: none"> ・配慮はしているが不足 ・寄り添う姿勢。聞き役になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮する内容にもよるが、保護者の気持ちに寄り添い、親身に接することを心がける。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	20		<ul style="list-style-type: none"> ・センターまつり 	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回たいようセンターまつりを開催し、地域に開かれた事業運営を行う。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	19	1	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルがあるものとなないものがある。防犯を想定した訓練など行っていないため、今後検討が必要。 ・全てがあるのか、分からないが、実施しているものもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは全てのマニュアルがあることを確認する。訓練はセンター全体の年間予定に組み込まれ実施している。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	20		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉避難所の設置訓練を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続計画（BCP）に基づき、福祉避難所設置訓練を実施し、想定した訓練を行う。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	20		<ul style="list-style-type: none"> ・入園前の調査票、面談での聞き取りをしっかりと行っている。 ・入園後も、服薬については追加や増量など、変更があったときに伝えてもらっている。 ・発作のある子には、発作時の対応について確認、共有。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師を中心に園児の健康状態を確認し、適宜対応している。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	20		<ul style="list-style-type: none"> ・事前に確認し、医師の指示書の提出を依頼。職員、看護師、栄養士、保護者との面談を行い、安全な給食の提供をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示書に基づき、安全に給食が提供できるよう対応する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	19	1	<ul style="list-style-type: none"> ・室内や戸外、公園などの潜在危険、子どもの特性による危険リスクなどの確認をクラスごとに確認し、安全を確保するよう努めている。事故があったときや、起こりそうになった時には、小事故報告、ヒヤリハット報告、事故報告書を作成し、分析、改善対策を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の特性を十分理解し、室内外で安全に遊べるよう確認する。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	20		<ul style="list-style-type: none"> ・バス内での安全のために、股ベルトやチャイルドシートの使用。（保護者の同意を得て行う） 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス内で股ベルトやチャイルドシートなどを使用する際は、必ず事前に保護者に同意を得る。また、個別支援計画にも記載する。
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	20			<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット報告書、事故報告書等を作成し、分析と改善対策を検討した上で職員間で共有する。 	

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	20		・毎年、全体での研修を行っている。	・毎年センター全体で研修を行っている。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	20		<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートについて～パート職員です。仕事で、その部分に関わっていないので、わからない質問もありました。 ・バス内での安全、健診時の安全のための対策を保護者に説明している。 	・園児の安全を最優先に考え、保護者には丁寧に説明する。